Valhalla NEWS

2024年 2月号

～ヴァルハラリハセンターより～

第2弾！フレイル予防体操のご紹介！

『頭を使いながらバランスをとる』運動や**『不安定な床面での歩行』**など、**転倒予防**に効果のある運動を実施しております！

～新しいユニフォーム～

色も明るく鮮やかで利用者様からも大変ご好評頂いております！

～ご協力のお願い～

除雪作業や交通渋滞等のため、送迎車の到着時刻が遅れる場合が御座います。（1/15、16の大雪の際は、場所によって最大1時間弱の遅延も有りました。）お電話など、ご連絡のつく暖かい場所でお待ち頂きますよう何卒よろしく御願い致します。

～リハセンター空き情報～

空き状況（2月初旬現在）

	AM	AM 入浴	PM	PM 入浴
月	×	×	×	×
火	△		△	
水	△		△	
木	×		×	
金	×		×	

看護師

かんだ　じゅんこ

神田　准子

看護師歴25年。病院や施設など色々と経験をさせて頂きました。年齢的に覚えも悪くなっており💦皆様にはご迷惑をお掛けするかと思いますが、頑張りますのでどうぞ宜しくお願い致します。

よろしくお願いします

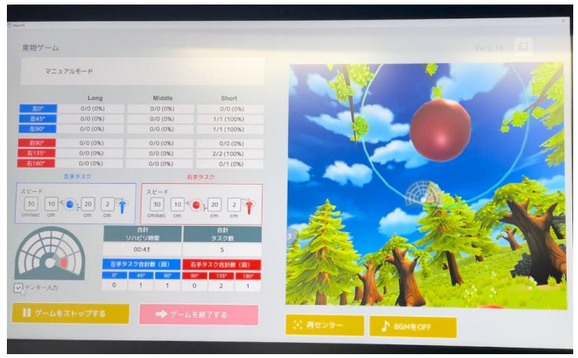
～ヴァルハラリハセンターより～
TEL 011-676-6863

～札幌ロボケアセンターより～

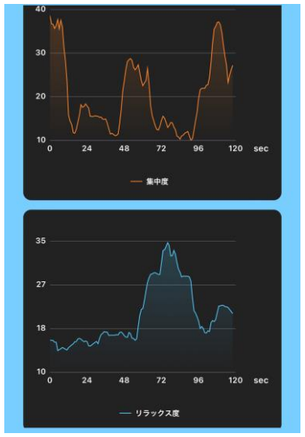
VRリハビリテーションの実際

～今回はMediVRカグラのご紹介です～

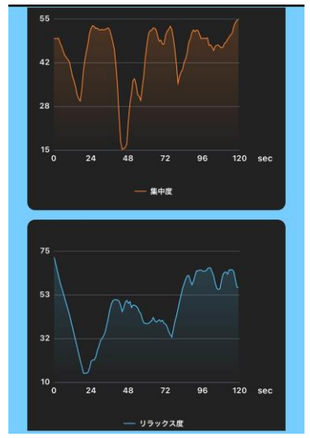
mediVRカグラは、仮想空間上の狙った位置に手を伸ばす動作（リーチングと呼びます）を繰り返すことで、姿勢バランスや二重課題型の認知処理機能を鍛えるリハビリテーションをサポートするための医療機器です。背景がシンプルで認知負荷が低い「水平ゲーム」と「落下ゲーム」、ゲーム注意障害を惹起するよう認知負荷性を高めた「水戸黄門ゲーム」「野菜ゲーム」「果物ゲーム」の5種類をご用意しています。



カグラ使用前



カグラ使用後



脳波測定
使用前後で集中度やリラックス度向上が認められた

休止のお知らせ

このたび居宅支援事業所「ヴァルハラ介護相談センター」は、令和２年１月開設以来皆様にご厚情を賜りまして今日まで事業を続けてまいりましたが、諸般の事情により、令和６年３月３１日をもちまして休止とさせて頂きます。

皆様の長年にわたるご愛顧に心から感謝申し上げますと共に、ご健勝とご発展をお祈り申し上げます

ヴァルハラ介護相談センター

～ヴァルハラ訪問看護ステーションより～

24時間緊急・看取り対応 あり　年齢・疾患問わず
小児～高齢者まで幅広く対応!

Nrs（看護師）

寒さも一段と厳しい季節になってきましたが、皆さまいかがお過ごしでしょうか？今回看護師からは小児の事例をご紹介致します。

極低出生体重児＋肺疾患があり、昨年より訪問看護開始となりましたが、訪問開始当初はネーザルハイフローという酸素を使う大きな機械を使っていました。成長に伴い、徐々に酸素の量も減量となり鼻に付けるタイプのものになりました！今はずり這いをマスターして、ハイハイに向けて練習中です(^^♪

写真は離乳食の風景です。
お気に入りの食べ物はヨーグルト！そしてお味噌汁だそうです。
たくさん食べて大きくなってね★

いつもキラキラの笑顔でパワーと癒しを貰っています。
当ステーションでは小児の訪問にも力を入れて対応しております。看護師スタッフ全体として、小児の知識とその関わり方を高めていくよう共有したり、何よりパパママナースも在籍しておりますので、時にはお互いの育児相談をしながら訪問しております。

もちろん小児だけではなく、高齢者までご年齢や疾患問わずにお力になることができます。お困りごとがございましたらいつでもお気軽にお問い合わせいただければ幸いです！

山田　裕香

『**腸律師**』取得しました！
腸の蠕動運動を促し、排便を促進します。
訪問看護で実施できます。
お気軽にご依頼ください。

ST（言語聴覚士）

皆さんこんにちは！今回は構音障害（こうおんしょうがい）についてのお話しです。構音障害は、音を作る器官やその動きに問題があり、発音がうまくできない状態をいいます。話の内容が相手に伝わりにくかったり、相手が話し手の音に不自然さを感じてしまい、コミュニケーションに支障をきたすことがあります。

この構音障害の原因ですが、大きく3つに分類されます。

（1）形の問題によるもの
病気やケガのために、音を作る器官が欠損したり形の異常のために起こる発音の問題で、器質性構音障害と呼ばれます。口蓋裂、鼻咽腔閉鎖不全、がんなどの切除手術によるものが代表的です。
（2）運動の問題によるもの
脳卒中やパーキンソン病など、発音に関わる動きをコントロールする神経の病気が原因で起こる発音障害です。運動障害性構音障害、麻痺性構音障害、ディサースリアなどと呼ばれます。
（3）明らかな問題のないもの
音を作る器官の形や、脳、神経、聴覚などに異常がないにもかかわらず発音がうまくできない場合には、機能性構音障害を疑います。小学校入学間近なのに赤ちゃんことばが治らない、子供の頃に身につけた発音の誤り（くせ）が大人になっても治らないなどです。
言語聴覚士は、構音障害の評価・診断を行い、コミュニケーションをとるために必要なリハビリや代償手段を実践・提案しています。お困りの際はお気軽にご相談ください(^^)

阿部　弘美

PT（理学療法士）

突然ですが・・福祉用具を選ぶ時に悩んだ事はありませんか？

杖や歩行車、手すり、車椅子など…。福祉用具とひとことで言っても様々。何となくのイメージはあるかと思いますが、実際にカタログを見てみるとあまりにも種類が多すぎて、いったいどれが自分に合っているのかわからない！というお声が聞かれることが多いのが実情です☺

そこで、今回は可動式4点杖をご紹介させていただきます！

可動式4点杖とは、一般的なT字杖と杖先のゴムが異なり、四角い形をしています。地面に接地する面積がT字杖より広い上に、杖を斜めについても多少可動域があるので、ぐらぐらする心配が少ないのが特徴です。また、一般的な4点杖だとちょっと重かったり、平地だと安定するが屋外や砂利のような凸凹した路面だとぐらついて危険だったりすることも多いです。一方、可動式４点杖は軽さと安定さの両方を兼ね揃えており、T字杖のゴムを着脱することで変更できるので、冬の時期は普通のT字杖に戻しアイスピックをつけることも可能です。

このように、福祉用具の特徴や選定に関しても、ご訪問の際にお身体の状況や生活環境を評価した中で、利用者様お一人おひとりに合ったものをご提案させていただきますので、いつでもご相談下さい！

菊地　星良

空き状況などお気軽にお電話下さい!
札幌市西区西野3条10丁目9-23

☎011-215-7960
（担当：井田・松原）

SNSもチェック！最新情報が満載♪

可動式４点杖について
インスタグラムで
よくわかるかも・・